

2025 年 期 第 3 回 課 題 研 究 テ ー マ (東 京 補 習 所)

10～18 班

テーマ	<p>あなたは監査チームの一員として、JGAAP を適用する会社の単体決算（期末財務諸表）における繰延税金資産（DTA）計上額の妥当性の監査を担当している。DTA および繰延税金負債（DTL）は、会計上の見積りに該当するが、以下について記述せよ。</p> <p>① JGAAP における税効果会計の一般的な計上手順について、関連する会計基準に基づき説明すること。その際、以下の点に触れること。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 企業会計基準適用指針第 26 号「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」における会社分類とその区分ごとの回収可能性検討の考え方・ 将来加減算一時差異およびそのスケジューリング・ 将来の課税所得（タックスプランニング含む）の位置づけ・ 適用すべき実効税率 <p>② 監基報 540「会計上の見積りの監査」に関連し、以下の問いについてあなたの考えを記述せよ。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 税効果会計における会計上の見積りはどのようなものがあるか・ そのうち最も監査リスクの高い会計上の見積りは何と考えるか・ そのリスクに対応した監査手続はどのようなものが想定されるか <p>また、一般的に会計上の見積りに関連する財務諸表項目は監査リスクが高いと考えられるが、その理由についても触れること。</p>
-----	--